

①あきた民謡祭 2 0 2 5

実施日時	令和7年6月14日（土） 14時～16時	総合評価	評価の要点と今後の対応方針
事業目的	秋田の代表的な伝統芸能である秋田民謡を次世代に継承していくことを目的に、若手からベテランまでの幅広い世代の担い手による公演を実施する。また、民謡を通じた地域活性化を推進するとともに、秋田民謡を県内外に広く発信する。	B	◆評価の要点 ・秋田民謡や歌い手、踊りなどの魅力が認知される機会となっており、若い世代への継承という点でも効果的である。 ・県内外から幅広い世代に来場してもらうためには、広報手段のデジタル化などの工夫が必要である。 ◆今後の対応方針 ・周知にSNSを活用するほか、民謡に関する展示やイベントを行うなど、秋田民謡に関する情報発信を強化する。
実施概要	ミルハス大ホールにおいて、民謡全国大会優勝経験者らによる民謡披露や、民舞団体による手踊り披露を中心とした公演を実施。また、秋田県民謡協会所属の唄い手や演奏者を由利高等学校民謡部に派遣し、唄、三味線、尺八の指導を実施。		

②文化行政担当者研修

実施日時	令和7年7月30日（水） 13時～16時	総合評価	評価の要点と今後の対応方針
事業目的	県及び市町村文化行政主管課の担当者間の横の繋がりを形成し、連携強化を図るとともに、有識者によるワークショップを通じ、担当者の資質向上を図る。	B	◆評価の要点 ・様々な事例を踏まえた講演は、地域のあり方等について具体的なイメージを持てるものであった。情報交換は、ワークショップによる対話形で実施することにより、各自治体の職員同士が互いの課題や実践を共有できる機会になっており、ネットワーク形成につながっている点が評価できる。 ・ワークショップは、ある程度余裕を持った時間配分が望ましい。 ◆今後の対応方針 ・担当者間の情報共有やネットワークづくりを促すため、今後も対話の時間を十分に取り入れるほか、適切な時間配分により実施する。
実施概要	若林朋子氏による講演及び文化芸術に係る課題解決をテーマとした情報交換・ワークショップを実施。 講演：地方公共団体や民間における先進的取組事例の紹介、文化芸術振興を通じた領域横断型事業や地域課題への取組についてのヒントの提供 情報交換・ワークショップ：各自治体における取組の状況と課題についての情報交換等		

③あきた芸術劇場を活用した地域のにぎわい創出事業（あきたドリームブラスコンサート）

実施日時	令和7年9月21日（日） 15時～17時	総合評価	評価の要点と今後の対応方針
事業目的	あきた芸術劇場ミルハスを活用し、県出身音楽家と県在住アマチュア演奏家が共演するコンサートを開催するほか、周辺施設等と連携した取組を実施し、地域のにぎわいを創出する。	A	◆評価の要点 ・世代や立場を超えて共に演奏をつくりあげる貴重な機会となっている点や演奏者の間で学びあう双方向性があった点などが評価できる。 ・秋田市以外の学生の参加や吹奏楽関係者以外の来場については、改善を要する。 ◆今後の対応方針 ・プロ・アマ一体となって開催するコンサートは、令和9年度以降に再度、事業化することを検討しており、実施する場合は、より幅広い層に来場してもらえるよう、広く周知する。
実施概要	秋田県出身や東北各地で活躍している音楽家15名と県内学生等有志97名、総勢112名が共演する吹奏楽コンサートを開催。		

④文化芸術による地域交流活性化事業（美術活性化アウトリーチ）

実施日時	令和7年9月20日（土） 10時30分～14時45分 令和7年9月21日（日） 9時30分～12時、13時～15時30分	総合評価	評価の要点と今後の対応方針
事業目的	専門的な技術及び知見を有するプロのアーティスト等と県民との接続の機会を創出し、県民が文化芸術に親しむ機運の向上や本県の文化芸術を担う若手の育成を図り、県内における活動の更なる活発化を目指す。	B	◆評価の要点 ・参加者数がちょうどよく、講師が参加者一人ひとりと交流でき、意見交換やアドバイスが活発に行われていた点が評価できる。 ・高校生向けワークショップについては、美術部員以外の生徒にも体験の機会を広げることや、農業や地域産業といった他分野と連携することで芸術が生活や社会と結びついている実感が得られるような工夫が必要である。 ◆今後の対応方針 ・高校生向けワークショップの企画にあたっては、地域の特色を反映した制作テーマの設定や活動を取り入れるなど、実社会におけるデザインの有効性を体感できるよう工夫する。
実施概要	秋田公立美大所属の専門人材による、高校生を対象としたワークショップ及びあきた芸術劇場における一般県民を対象としたワークショップを実施。		

⑤文化芸術による地域交流活性化事業（音楽活性化アウトリーチ）

実施日時	令和7年10月12日（日） 11時～15時	総合評価	評価の要点と今後の対応方針
事業目的	専門的な技術及び知見を有するプロのアーティスト等と県民との接続の機会を創出し、県民が文化芸術に親しむ機運の向上や本県の文化芸術を担う若手の育成を図り、県内における活動の更なる活発化を目指す。	A	◆評価の要点 ・学生がプロの演奏家から直接指導を受ける機会は貴重であり、学生にとって大きな刺激や有意義な経験となっている。 ・講師との交流時間の確保や、学校・地域への参加機会の提供、ミニコンサートの集客が課題である。 ◆今後の対応方針 ・交流時間を確保しつつ、学校・地域の学生にアウトリーチを提供できるよう、関係団体と協議して内容や開催地等を調整するほか、SNS等により県民への周知を強化する。
実施概要	秋田県高校生合同オーケストラ所属の高校生を対象に、藝大フィルハーモニア管弦楽団弦楽五重奏団によるミニコンサート及び演奏指導を実施。		